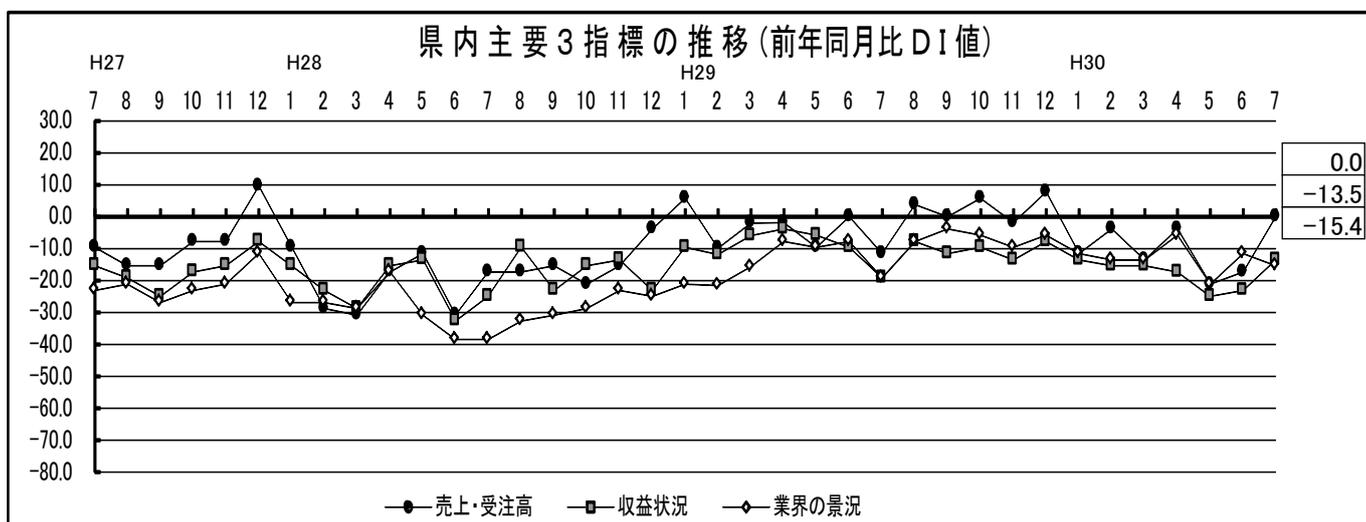


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年7月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 7月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」の5指標が上昇し、「雇用人員」「業界の景況」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より17.3ポイント上昇し±0.0ポイント、「収益状況」が前月より9.6ポイント上昇し-13.5ポイント、「業界の景況」が前月より3.9ポイント下降し-15.4ポイントであった。
- 7月は売上高、収益状況が好転したものの、一部の業種に限られている。業界の景況は、6月調査では回復の兆しを見せたが、今回は再び悪化に転じた。特に、食料品製造業・卸売業・小売業では、猛暑や豪雨等の影響を直接受け、多くの指標が悪化している。また、指標全般が上昇・横這い傾向にある中、雇用人員は引き続き悪化しており、非製造業を中心に人手不足が依然として深刻な状況となっている。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	0.0	+17.3	-9.5	+4.8
収益状況	-13.5	+9.6	-19.9	+1.9
業界の景況	-15.4	-3.9	-18.7	+1.5

売上・受注高

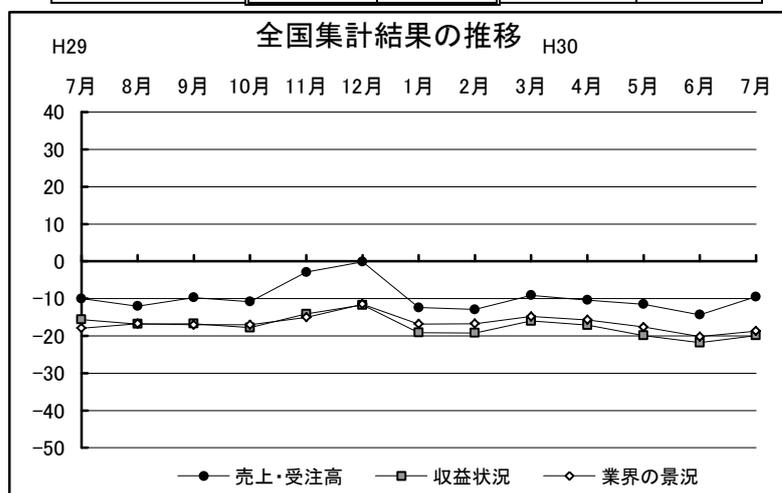
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より17.3ポイント上昇し±0.0ポイントとなった。全国においては、前月より4.8ポイント上昇し-9.5ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より9.6ポイント上昇し-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より1.9ポイント上昇し-19.9ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より3.9ポイント下降し-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より1.5ポイント上昇し-18.7ポイントとなった。



-概況-

7月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「収益状況」「資金繰り」「設備操業度」の5指標が上昇し、「雇用人員」「業界の景況」が下降した。

主要3指標は、「売上高」が前月より17.3ポイント上昇し±0.0ポイント、「収益状況」が前月より9.6ポイント上昇し-13.5ポイント、「業界の景況」が前月より3.9ポイント下降し-15.4ポイントであった。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上高」は製造業で7業種中3業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で6業種中2業種が上昇、3業種が低下した。「収益状況」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中2業種が上昇、1業種が低下した。「業界の景況」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中2業種が上昇、3業種が低下した。

7月は売上高、収益状況が好転したものの、一部の業種に限られている。業界の景況は、6月調査では回復の兆しを見せたが、今月は再び悪化に転じた。特に、食料品製造業・卸売業・小売業では、猛暑や豪雨等の影響を直接受け、多くの指標が悪化している。また、指標全般が上昇・横這い傾向にある中、雇用人員は引き続き悪化しており、非製造業を中心に人手不足が依然として深刻な状況となっている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	×	△	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	○	△	△	△	△	△	△	△	△
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	×	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	△	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	○	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	△	△	○	△	×	×	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	×	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	○	—	△	△	○	△	—	△	△
その他	×	—	△	△	△	△	—	△	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-75.0	0.0	25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
木材・木製品	50.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	-25.0	-25.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-50.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0
製造業	8.0	4.0	12.0	0.0	-12.0	0.0	-4.0	-4.0	-12.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	/	-33.3	0.0
小売業	-14.3	-28.6	42.9	-14.3	-42.9	-42.9		-14.3	-71.4
サービス業	-33.3		0.0	-16.7	-50.0	0.0		0.0	-16.7
建設業	-20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	-7.4	-20.0	11.1	-7.4	-14.8	-11.1	-7.4	-18.5	
全体	0.0	-2.9	11.5	-3.8	-13.5	-5.8	-4.0	-5.8	-15.4

図表3～【指標別DI値の推移】

	29年 7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	前月比
売上高	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-3.8	-13.5	-3.8	-21.2	-17.3	0.0	17.3
在庫数量	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-20.0	-14.3	-14.3	-14.3	-11.4	-2.9	8.5
販売価格	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	7.7	5.8	3.8	9.6	11.5	11.5	0.0
取引条件	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	-1.9	-3.8	-3.8	-5.8	-3.8	-3.8	0.0
収益状況	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-15.4	-15.4	-17.3	-25.0	-23.1	-13.5	9.6
資金繰り	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-9.6	-9.6	-9.6	-15.4	-9.6	-5.8	3.8
設備操業度	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	8.0	-4.0	-8.0	-12.0	-12.0	-4.0	8.0
雇用人員	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	-5.8	1.9	0.0	-1.9	-5.8	-3.9
業界の景況	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-13.5	-13.5	-5.8	-21.2	-11.5	-15.4	-3.9

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
繊維・同製品	25.0	50.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	-50.0
木材・木製品	150.0	75.0	0.0	0.0	75.0	50.0	25.0	25.0	50.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	-50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	100.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0
製造業	32.0	16.0	4.0	0.0	12.0	16.0	8.0	4.0	4.0
卸売業	-33.4	0.0	0.0	0.0	-33.3	0.0		-33.3	-33.3
小売業	28.6	-14.3	0.0	14.3	14.2	-14.3		-28.6	-42.8
サービス業	0.0		0.0	-16.7	0.0	-16.7		0.0	-16.7
建設業	-20.0		-20.0	0.0	0.0	0.0		0.0	20.0
運輸業	50.0		0.0	0.0	50.0	0.0		0.0	25.0
その他	-50.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	3.7		-10.0	-3.7	0.0	7.4	-7.4	-11.1	-11.1
全体	17.3	8.5	0.0	0.0	9.6	3.8	8.0	-3.9	-3.9

特記事項

情報連絡員報告（平成30年7月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	全体的には今年の暑さが影響していると考えられる。栃木県は幸いにも大きな災害がなかった。
縫製業	セールが始ったが、ネット社会の若年者は特別セールだから買うという習慣が薄い。ネット社会ではないが、百貨店等は少し上向きである。全体では昨年より悪化していて、祝物の注文も少ない状況にある。
染色整理業	一定線で安定している。
網・網・レース・繊維粗製品製造業	昨年同時期に比べると売上・稼働状況共に若干増加。新シーズンに向けては、変わった素材への要望が多いと感じている。
一般製材業	前年対比売上高及び加工坪数共に増加した7月でした。8月は盆月ではありますが、加工予定が増加している。業界の景況はまだまだ先がみえない状況にある。
建具製造業	このところ、県伝統工芸品「鹿沼組子」の受注が好調のようである。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。
石灰製造業	肥料向けが若干増加傾向となっているが、鉄鋼、建材関係は前年並みに推移し、石灰関係全般では、前年並みとなった。
碎石製造業	第1四半期の出荷量（4月～6月）は、昨年同期比で0.3%増加しており堅調である。
陶磁器製造業	今年は猛暑のためか、観光客も少なく、売上げも減少傾向にあった。
金属製品製造業	自動車部品関係・・・横這い 機械整備関連・・・横這い 工作機械関連・・・横這い プレス金型関連・・・横這い 半導体関連・・・横這い
一般機械器具製造業	30年7月の報告は前年同月と比較し、売上高がわずかではありますが増加傾向にあります。また、仕入単価も上昇傾向にあり、懸念材料となっております。他は全般的にほぼ不変という結果となっております。相変わらず人手不足、増産対応が厳しいという報告もあります。
一般機械器具製造業	停滞感が払拭できない状況が続いています。トランプ効果（逆）が原因でしょうが、独善的指導者を選択する風潮が改善されない限り難しいと考えている。
各種商品卸売業	昨年同期と比べ不変又はやや微増としているとする企業が増えている。 ○その他の卸売業（文房具・オフィス家具卸売業） 県内の文具卸売りは、小売店の減少やネット販売の影響もあり前年比減少となっているが、オフィス家具類が好調で文具の減少分を補う形となっている。県内の多くの事務所はスチール製の机・椅子等が入替え時期となっている。働き方改革や社員の定着化を図るため事務所のリニューアルに取り組む企業も徐々に増え始め、オフィス家具の需要は堅調に推移している。
食肉小売業	国産牛・豚の相場が上げ止まり、下がりません。国産鶏は変わらず、鶏肉の80%がブラジル産です。運輸のストの影響で、入船が無く価格が30%アップしています。全て猛暑の為、動きが悪い。
中古自動車小売業	新車販売が苦戦する中、下取車の減少、良質車の流通が減少・高止まりの中、一部の車が輸出で値上がり商品車の仕入が困難、収益を圧迫している。

各種商品小売業	3ヶ月続けて不況であった。先行の見通しも厳しいと見ています。お客様の消費意欲の低下が原因と思われます。必要品は買うがそれ以外の物は厳しい。そして低価格志向になってきている。また、豪雨等天候も影響していると思われる。
各種商品小売業	全体として客数は前年を下回ってしまったが、売上は前年を上回り、客単価の向上が顕著な月となった。今後も街全体としては人口減少が続く中、客単価アップを意識した仕掛けや接客を続けていく必要がある。裏を返せば客数に依存せざるを得ない業種にとっては厳しい状況が続いている。
花・植木小売業	この時期は花の傷みが早いので、店頭での動きは鈍く売上は上がらない。結婚式も7～8月はオフシーズンのため組数は減少する。市場の状況を見ると、暑さの影響から高温障害による生育不良が発生し、入荷量は前年比で1割ほど少なく、相場は15～20%の単価高で推移した。また、8月盆用花材に日照り続きによる前進出荷で品薄の品目が出始めている。加えて各地に被害をもたらした豪雨や台風の影響も今後出てくると思われるので、産地情報を早めに収集して仕入計画を考えたい。
理容業	高齢者で後継者のいない組合員の脱退・廃業が依然として増加している。組合員減少に伴い、組合の財源も苦しくなるため、悪循環となってしまっている。
自動車整備業	売上件数2%増により若干の売上増加に繋がった。
旅館・ホテル	宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇していたが、2018年になってからの7カ月間に関し少し停滞感がある。DC後の秋までの動きに注視していきたい。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。飲食店利用に関しては、7月上旬より梅雨明けし激しい暑さに見舞われたため動きが非常に鈍った。8月も引き続き注視してゆく予定。
ビルメンテナンス業	ビルメンテナンス業が受注減・収益減の状況にある。倉庫内作業請負は増収だが、退職給付費や外注費の増加により収益減となっている。
給食センター	売上高は昨年あったスポットの売上がない為、減少となった。現状、米や野菜等の食材の値上げによりコストアップとなり、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。
内装工事業	栃木県室内装飾事業協同組合の防火ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは50%減、敷物用ラベルは20%減、壁装用ラベルは20%減であった。ラベルの支給（売上）金額では前年同期4月～7月累計では28%減であった。 ※平成30年4月～7月 カーテン用ラベル50%減少している。敷物用・壁装用ともに20%減少している。
一般貨物自動車運送業	長時間労働の是正問題に加え、常態化する人手不足に直面している。燃料価格も高値推移しており厳しい経営環境である。
貨物軽自動車運送業	前半は西日本豪雨に伴う依頼が急増したため、食糧・飲料水・衣類など緊急物資の配送で配車不能になる日もあった。後半は猛暑の影響で小売店などへの飲料水の配送が連日続いた。
一般乗用旅客自動車運送業	特定地域指定における事業計画を本年7月より実施する。利用者全体の利便性向上を目的とする為、個人タクシーは月に3日間の休日を増やし、法人タクシーは営業台数の削減を図る。
大谷石採石業	販石、積石とも前年同月比で約1割減であった。大阪での地震の影響は微小ですが、その後の中国地方大雨による物流の影響が出ており、タイル等への変更による減少があった。